

EDF（フランス電力）Q & Aの概要

神奈川県 石黒 修

3月27日パリ・アルシュの新凱旋門35階の最新ビルに於いてEDFとTOSSの会議が行われた。EDFの二人の代表によるフランス・エネルギー教育の現状説明に対して日本側が質問をした。エネルギー教育の方法、使用教材等共通性が随所に見られ、CO₂削減を踏まえてのエネルギー教育の必要性について意見交換が活発に行われた。

I、向山TOSS代表挨拶

TOSSは東京電力始め10の電力会社と協力して、エネルギー教育を進めている。エネルギー教育の中で原子力は大事だが、日本は原爆が落とされたため、教職員や市民が反対する雰囲気がある。しかし、子どもたちは、きちんと教育すると理解してくれる。昨日は、カダラッシュを訪問し、核融合発電研究の責任者が日本の池田要氏であることに感銘した。原発の世界最先端、フランスの電力事情・エネルギー教育について教えてほしい。

II、EDF代表挨拶・フランス国内エネルギー事情

ようこそ。日本がエネルギー教育の実践に努力していることはよく理解している。原子力発電は、いろいろコミュニケーションが必要で、特に教育と産業の協力が大切である。

- ①フランスには小学校から高校まで1300万人の生徒、約100万人の教師がいる。
- ②1946年にフランス電力は国営化された。2004年に、14%民営化された。
- ③フランス電力は90% 4兆9040万KW（5億か）の電力を供給している。そのうち87%は原発で日本（33%）より大きい比重を占めている。原発は27カ所59基ある。（水力 8.5%、火力 4.5% その他 風力 1%、バイオマス 0.3%）国内利用者2700万世帯

III、海外事情

- ①売り上げの58% 国内、その他 海外 ②海外事業は1990年以後、南米から始まり、イギリス・ドイツ。イタリアそしてアジアに進出している。（中国 原発、ベトナム東電と提携、ラオス水力発電）特に日本とは、協力関係にある。

IV、日本側からのQに対するフランス側のA

Q 1、フランスにおける計画停電を含めた停電時間はどのくらいか。

A、計画停電を含めて、平均すると50分間（パリ市内は15分くらい。地方は1時間から2時間程度）

Q 2、ドイツのメルケル（首相）は、「ドイツは風力発電など再生可能なエネルギーでの発電が20%」と言っているが、それについてはどうか。

A、フランスでは、再生可能6800万KW（水力13%、バイオ等を入れて13%）、原子力5兆5000万KW（5億か 数値が最初の数値と違っている）

2020年には、20%を目標としている。風力発電は稼働率が1日／3日で低い

V、EDFによる教育に関する情報

教育省との関係でエネルギー教育は行わなくてはならない。目標は1400万人の生徒に電力会社を理解してもらうこと。そのため教育省と次のような申し合わせをしている。

- ①コンフェランス（特別講義・講座）を開く。②教育学的な観点でのパネルを作る
- ③ビデオを制作する。④インターネット・子ども向けゲームなどを作る。
- ⑤展示会（大きな町にある博物館を使って）をする。⑥インターネットサイト（教師用・子ども用）を作る。

今までエネルギー教育についてイニシアチブをとってきた。また教育をやる立場にあることを理解している。今後も情報をいかに提供するか、消費者そのもの（原発反対の方もいるので）への安全性の情報の提供が必要である。

Ⅵ、教育での実例

8歳から11歳の子どもの指導に力を入れている。3つの大事なポイントがある。

- ①電気の概念を掴んでもらうこと② エネルギーの大切さ、節約する（省エネ）方法を知ってもらうこと③家庭内での電気を使うセキュリティーを知ってもらうこと（電気事故を防ぐ事が一番重要だ）

1、8歳から11歳の子どもには

- ア、3500回のコンフェランスを授業としてやる。やってくれる人の養成をしている。（45人、25歳から35歳、第三セクターがある。お金は電力会社が負担）
- イ、授業は1時間半、小冊子を使う。インターネットからも申し込みができる。いかに電気を使うか、どのように操作するか、事故が起きたらどうするかなどを教える。ポスターを使う（日本とほぼ同じもの。夜の地球もあった）。ノートも作っている。
- ウ、資料・教材は送ることもできる。年間2500件の問い合わせがある。
- エ、その他 事故が起きたらどこに知らせるかが書いてあるマグネット、アニメ、模型、子ども用テキスト（小・中・高別に作っている）、教師用・生徒用CDを準備している。

原発の近くに博物館を作って展示し、情報が入るようにしている。

- 2、中学生には 「持続的発展の中の電力」をテーマに2時間ほどのコンフェランスを行っている。内容としては、①環境と電力の関係②電力をいかに使うか③歴史④これからの電力、円エネルギーの将来 等である。

- 3、高校生には 「エネルギーの将来」「持続的発展の中の電力」をテーマに、①エネルギーの節約も大事ということや②電気テクノロジー 等について行っている。

また、原発が全てよいという考えではなく中立の立場で、専門意識を持って伝えようと考えている。

Q 東京の電力館で、原子エネルギーについて小学生に教えている。放射線を測定させている。フランスでは何年生くらいからやっているか。

A、個人的にはやっているかもしれないがEDFではやっていない。テロの問題もあって昔のように原発見学もやっていない。

Ⅶ、向山代表挨拶

共通する教材（夜の地球・家の中の電気等）があって驚いた。フランスの自由さが羨ましい。我々はエネルギーと環境教育を企業と協力してやっている。電力会社はもちろんCO₂削減ではトヨタなどの企業が宣伝抜きで協力している。今後CO₂を減らす努力やハイブリッドなどを作る努力を知らせてほしい。

（なお、同じ項目について違った数値がある。訳し間違いと思う。）